

- ✓ 令和7年8月10日からの大雨により、本市が管理する山ノ下排水機場（河川課）及び坪井ポンプ場（水再生課）では一時的に排水機能の喪失により、稼働に空白の時間が生じた。
- ✓ 各々の排水機場について、停止原因・再稼働までの職員の対応や停止したことによる影響及び再発防止に必要な各種の対策について、検証委員会を設置し、10月16日より3回に渡り審議を行った。
- ✓ 11月14日に委員会より中間答申が手交された。今後、本市が管理する排水機場等が継続的に安定して稼働するための対策等についてさらに継続して検証を行い、令和8年3月に最終答申とりまとめの予定。

1. 山ノ下排水機場についての検証結果

【停止した原因】

- ・ポンプ停止前より周辺はすでに浸水しており、記録的大雨により内水氾濫が発生し、排水機場内が浸水。
- ・夾雑物が除塵機裏から流入し、ポンプに過電流が発生しVCB（安全装置）が作動し、停止した。

【停止したことによる影響】

- ・河川等監視システムの映像、職員による浸水痕等により浸水深が数cm上昇したと推測される。

【本市の対応】

- ・業務委託により定期点検を実施しており、設備メンテナンスも適切に行われていた。
- ・当日の操作等も要領・マニュアルに沿った対応であり問題はなかった。

【再発防止策】

〈短期〉

- ・除塵機周りの夾雑物混入対策及び施設の耐水化。
- ・非常時の対応を落とし込んだマニュアルの作成。
- ・水防本部を含め関係部署との連携や市民周知が重要である。

〈中長期〉

- ・新たに建設中の排水機場及び貯留施設の着実な推進。

2. 開催状況等



第1回検証委員会
(令和7年10月16日)



除塵機周りへの夾雑物混入防止対策

3. その他市域全体での浸水対策

- ・止水板の補助制度の早期導入。
- ・内水浸水想定区域図等で浸水情報を市民に周知する等、ソフト対策をおりませた事業の実施。